

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
172	2009/4/3	90041	阪大微生物病研究会	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきジフテリア混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 成人用沈降ジフテリアトキソイド ジフテリアトキソイド	ブタ肉エキス	ブタの肉、脂肪	該当なし(製造中止)	製造工程	有	無	無	エボラ出血	Science 2009; 323: 451	90039に同じ
173	2009/4/3	90042	阪大微生物病研究会	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきジフテリア混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 成人用沈降ジフテリアトキソイド ジフテリアトキソイド	ペプトン	ウシの乳	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
174	2009/4/3	90043	阪大微生物病研究会	乾燥日本脳炎ワクチン 日本脳炎ワクチン	マウスの脳	マウス	日本	製造工程	無	無	無			
175	2009/4/3	90044	阪大微生物病研究会	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきジフテリア混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 成人用沈降ジフテリアトキソイド ジフテリアトキソイド	牛肉消化液	ウシの筋肉	オーストラリア	製造工程	無	無	無			
176	2009/4/3	90045	阪大微生物病研究会	乾燥弱毒生麻しんおたふくかせ風しん混合ワクチン	人血清アルブミン	ヒトの血液	該当なし(製造中止品目)	添加物	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
177	2009/4/3	90046	阪大微生物病研究会	百日せきワクチン 沈降精製百日せきワクチン 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン	脱繊維牛血液	ウシの血液	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
178	2009/4/3	90047	阪大微生物病研究会	乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン 乾燥弱毒生風しん混合ワクチン 乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン	乳糖水和物	ウシの乳	オランダ、ドイツ、オーストラリア、ニュージーランド	添加物	無	無	無			
179	2009/4/3	90048	阪大微生物病研究会	乾燥弱毒生水痘ワクチン 水痘抗原	MRC-5	ヒト胎児肺二倍体細胞	1966年に樹立したマスタセルバンクに使用したヒトの細胞株	製造工程	無	無	無			
180	2009/4/3	90049	阪大微生物病研究会	乾燥痘そうワクチン 痘そうワクチン	ウシの皮膚	ウシの皮膚	該当なし(製造中止品目)	製造工程	無	無	無			
181	2009/4/6	90050	田辺三菱製薬株式会社	ヘパリンナトリウム	ヘパリンナトリウム	ブタの小腸粘膜	中国、アメリカ、カナダ、オーストラリア	有効成分	無	無	無			
182	2009/4/6	90051	大洋薬品工業	ダルテパリンナトリウム	ダルテパリンナトリウム	ブタ	中国	有効成分	無	無	無			
183	2009/4/6	90052	大洋薬品工業	ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液	ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液	ウサギ	中国	有効成分	無	無	無			
184	2009/4/6	90053	大洋薬品工業	ヘパリンナトリウム	ヘパリンナトリウム	ブタ	中国	有効成分	無	無	無			
185	2009/4/7	90054	あすか製薬	日局ヒト下垂体性性腺刺激ホルモン	下垂体性性腺刺激ホルモン	ヒト尿	中国	有効成分	無	無	無			
186	2009/4/7	90055	あすか製薬	精製下垂体性性腺刺激ホルモン	下垂体性性腺刺激ホルモン	ヒト尿	中国	有効成分	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
187	2009/4/9	90056	ニプロファーマ	ヘパリンナトリウム注射液 ヘパリンナトリウム	ヘパリンナトリウム	ブタの小腸粘膜	中国、アメリカ、カナダ、オーストラリア	有効成分	有	無	無	エボラ出血	OIE press release (December 23, 2008)	2007～2008年フィリピンの養豚場でブタの死亡率が上昇し、政府が調査をした結果、2008年10月にブタでエボラレストンウイルス及びブタ繁殖・呼吸器障害症候群(PRRS)ウイルス強毒性株の感染が確認された。エボラレストンウイルスのブタへの感染を示す初の報告。
												エボラ出血	ProMED-mail2009012 3.0293	フィリピンマニラの農場で2008年10月にブタで始めてエボラレストンウイルスが確認され、2009年1月には当該農場の労働者少なくとも1名で抗体陽性を示した。同ウイルスのブタからヒトへの感染を示す初の報告。
												エボラ出血	WHO/EPR 2009年2月3日	2009年1月23日、フィリピンにおいてブタからの感染と考えられるエボラウイルス・レストン株抗体陽性者が確認され、1月30日、さらに4例の抗体陽性者が確認されている。現在まで抗体陽性者の健康状態は良好であり、過去12ヶ月以内に主だった症状を呈していない。
188	2009/4/9	90057	テルモ	—	ヘパリン	豚小腸粘膜	米国、中国	有効成分	有	無	無	ブドウ球菌感染	ProMED-mail2009012 6.0348	アイオワ大学の疫学者らは米国のブタにおいてメチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)に関する調査を行った。アイオワ州とイリノイ州の2つの農場において併せてブタ299頭及び養豚場で働く20名の検査を行い、生産システムAの農場では70%のブタ及び64%のヒトがMRSAのST398株のキャリアであった。一方、生産システムBの農場ではMRSAは検出されなかった。
												エボラ出血	WHO/EPR 2009年2月3日	90056に同じ
												サルモネラ	ProMED-mail2009020 9.0582	フィリピン・サマル州において2008年12月以降ブタでサルモネラ感染が流行し、84頭が死亡、約772頭が罹患した。その他25頭が感染疑いでと殺された。2月9日現在、感染は制御されたと、同地域の農業省職員が述べた。
189	2009/4/10	90058	沢井製薬	ウリナスタチン	ウリナスタチン	ヒト尿	中国	有効成分	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
190	2009/4/10	90059	沢井製薬	トロンピン	トロンピン	ウシ血液	ニュージーランド、オーストラリア、アルゼンチン	有効成分	無	無	無			
191	2009/4/10	90060	沢井製薬	ダルテパリンナトリウム	ダルテパリンナトリウム	ブタ腸粘膜	中国	有効成分	無	無	無			
192	2009/4/13	90061	宇治製薬	コンドロイチン硫酸鉄コロイド	コンドロイチン硫酸ナトリウム	ウシ軟骨	米国	添加物	無	無	無			
193	2009/4/14	90062	北里研究所	乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	コレステロール	ヒツジ毛	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	BMC Vet Res 2008; 4: 14	スクレイビー高感受性のプリオン蛋白質遺伝子型(VRQ/VRQ)保有の子羊に、VRQ/VRQを保有するスクレイビー感染雌羊の乳を与えたところ、子羊のリンパ組織から疾患関連プリオン蛋白質が検出された。また、スクレイビー感染雌羊の乳を与えた子羊を与えていない子羊と混合飼育したところ、与えていない子羊において疾患関連プリオン蛋白質が検出された。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	PLoS Pathogens 2008; 4: e1000238	スクレイビー潜伏感染し、マレディレンチウイルス感染による乳房の異所性リンパ濾胞が認められた雌羊の乳管及び乳腺房から異常プリオン蛋白質が検出された。ただし、乳腺に病変のないスクレイビー潜伏感染雌羊の乳にもプリオン感染性が認められた。TSEが潜伏感染する反芻動物の乳が、直接又は飼料中の乳由来成分を通して動物間のTSE伝播に関与することが示された。
												ウイルス感染	Vet Microbiol 2009; 133: 184-189	ブタ及びヒツジの糞便検体のノロウイルススクリーニングをmultiplex real-time RT-PCRで実施した。ブタでは2/23検体で遺伝子群Ⅱ、ヒツジでは8/33検体で遺伝子群Ⅲが陽性であった。臨床的異常は認められていない。ゲノム配列分析から、ヒツジで検出された株は新たなGⅢ遺伝子群であることが示唆された。
194	2009/4/14	90063	北里研究所	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド	ヒツジ血清	ヒツジ血液	米国	製造工程	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	BMC Vet Res 2008; 4: 14	90062に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	PLoS Pathogens 2008; 4: e1000238	90062に同じ
												ウイルス感染	Vet Microbiol 2009; 133: 184-189	90062に同じ
195	2009/4/14	90064	北里研究所	乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	トリブシン	ブタ臓臓	米國、カナダ	製造工程	有	無	無	クロストリジウム感染	Emerg Infect Dis 2008; 14: 1039-45	動物からヒトへのClostridium difficileの異種間伝播を調査するため、ヒトの疾患に関連するToxinotype V株、動物及びヒトに由来するToxinotype V株の遺伝的関連性、in vitroのこれらの株の毒素産生性を調べた。その結果、ヒトとブタから分離されたToxinotype V株間で高い類似性が認められた。全ての分離株で39bp tcdC欠損が見られ、大部分がバイナリートキシンを産生した。
												エボラ出血	OIE press release 23Dec2008	80963に同じ
												ウイルス感染	Vet Microbiol 2009; 133: 184-189	90062に同じ
196	2009/4/14	90065	武田薬品工業	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降精製百日せきワクチン	ウシ血液	ウシ血液	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
197	2009/4/14	90066	武田薬品工業	乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン	ウサギ腎細胞	ウサギ腎臓	日本	製造工程	無	無	無			
198	2009/4/14	90067	日本化薬	乾燥BCG膀胱内用(コンノート株)	生きたカルメット・ゲラン菌(BCG)・コンノート株)	牛型結核菌生菌	カナダ	有効成分	無	無	無			
199	2009/4/15	90068	化学及血清療法研究所	乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	アンチトロンビンⅢ	ヒト血液	日本	有効成分	有	有	無	ウイルス性脳炎	ProMED-mail2008082.8.2697	80995に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												ウイルス感染	Proc Natl Acad Sci USA 2008; 105: 14124-14129.	80995に同じ
												ウイルス感染	ProMED-mail2008102 8.3409	80995に同じ
												細菌感染	CDC/MMWR 2008; 57: 1145-1148	80995に同じ
												ウイルス感染	ProMED-mail2009012 9.0400	90003に同じ
												レトロウイルス	CDC/Travelers' Health 2009年2月4日	90003に同じ
												コレラ	CDC/Travelers' Health 2009年2月4日②	90003に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA/News 2009年2月17日	vCJDと関連のない疾患で死亡し、生前にvCJD又は他の神経学的症状を示していなかった男性血友病患者の剖検時に、異常プリオンタンパクが確認された。この男性は、献血後にvCJDを発症したドナー血漿を含む原料から製造された第Ⅷ因子製剤を使用していた。
200	2009/4/15	90069	化学及血清療法研究所	人免疫グロブリンヒスタミン加人免疫グロブリン製剤	免疫グロブリン	ヒト血液	日本	有効成分	有	無	無	ウイルス性脳炎	ProMED-mail2008082 8.2697	80995に同じ
												ウイルス感染	Proc Natl Acad Sci USA 2008; 105: 14124-14129	80995に同じ
												ウイルス感染	ProMED-mail2008102 8.3409	80995に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												細菌感染	CDC/MMWR 2008; 57: 1145-1148	80995に同じ
												ウイルス感染	ProMED- mail2009012 9.0400	90003に同じ
												レトロウイルス	CDC/Travelers' Health 2009年2月4日	90003に同じ
												コレラ	CDC/Travelers' Health 2009年2月4日②	90003に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA/News 2009年2月17日	90068に同じ
201	2009/4/15	90070	化学及血清療法研究所	乾燥濃縮人活性化プロテインC 乾燥濃縮人血液凝固第Ⅲ因子	マウス由来モノクローナル抗体	マウス脾臓	日本	製造工程	無	無	無			
202	2009/4/16	90071	ジェンザイム・ジャパン	抗ヒト胸腺細胞ウマ免疫グロブリン	抗ヒト胸腺細胞ウマ免疫グロブリン	ウマ血漿	フランス	有効成分	無	無	無			
203	2009/4/16	90072	ジェンザイム・ジャパン	抗ヒト胸腺細胞ウマ免疫グロブリン	胸腺細胞	ヒト胸腺	ベルギー、スペイン、フランス、イタリア、リトアニア、ポーランド、ノルウェー、デンマーク、スウェーデン	製造工程	無	無	無			
204	2009/4/16	90073	ジェンザイム・ジャパン	抗ヒト胸腺細胞ウマ免疫グロブリン	赤血球ストローマ	ヒト血液	アメリカ	製造工程	無	無	無			
205	2009/4/16	90074	ジェンザイム・ジャパン	抗ヒト胸腺細胞ウマ免疫グロブリン	胎盤組織	ヒト胎盤	フランス	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
206	2009/4/16	90075	ジェンザイム・ジャパン	アルグルコシダーゼ アルファ (遺伝子組換え)	アルグルコシダーゼ アルファ(遺伝子組換え)	遺伝子組換えチャイニーズハムスター卵巣細胞	宿主細胞株は、Dr.Lawrence Chasin(Columbia University)より入手	有効成分	無	無	無			
207	2009/4/16	90076	ジェンザイム・ジャパン	アルグルコシダーゼ アルファ (遺伝子組換え)	ウシ血清	ウシ血液	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
208	2009/4/16	90077	ジェンザイム・ジャパン	アルグルコシダーゼ アルファ (遺伝子組換え)	トリプシン	ブタ膵臓	米国、カナダ	製造工程	無	無	無			
209	2009/4/17	90078	沢井製薬	ヘパリンカルシウム	ヘパリンカルシウム	ブタ腸粘膜	中国	有効成分	無	無	無			
210	2009/4/17	90079	日本ビーシージー製造	乾燥BCGワクチン 乾燥BCG膀胱内用(日本株)	ウシ胆汁	ウシの胆嚢	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Virology Vol.379 No.2 284-293, 2008	80973に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerging Infectious Diseases, Vol.14, No.12,1898-1901,2008	80973に同じ
211	2009/4/20	90080	扶桑薬品工業	ヘパリンナトリウム	ヘパリンナトリウム	ブタの腸粘膜	米国、カナダ、中国	有効成分	有	無	無	インフルエンザ	Emerg Infect Dis 2008; 14: 1470-1472	米国で2005年12月にインフルエンザA型と診断された17歳少年の鼻洗浄検体から分離されたウイルスは、CDCで決定されたウイルスの全ゲノム配列から、ブタインフルエンザA(H1N1)トリプル再集合体ウイルス(A/Wisconsin/87/2005H1N1)と同定された。患者は発症の3日前にブタの屠殺を手伝っており、ブタの呼吸器分泌物が感染源として最も疑われた。
												ロタウイルス	J Med Virol 2008; 80: 1666-1674	1982年12月～1986年3月のブラジル・ベレン郊外でC群ロタウイルス(RVC)の流行に関する調査が実施された。生後～3歳まで追跡された小児30例の糞便検体から17検体でブタRVCが検出された。また、VP6遺伝子の配列分析から14株は完全に相同であり、同一のブタRVC株がベレンで流行していることが示唆された。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症 (PT)	出典	概要
												レンサ球菌感染	病原微生物検出情報 2008; 29: 257-258	日本において精肉加工業の68歳男性がブタ連鎖球菌性髄膜炎を発症した。敗血症、急性腎不全、DICを合併した。具体的な感染経路は確認されていない。
												レンサ球菌感染	J Infect 2008; 57: 158-161	オランダで3.5年間の観察コホート研究において696例の細菌性髄膜炎患者が同定され、うち4例がブタ連鎖球菌性髄膜炎であった。全4例でブタへの暴露が関係していた。3例が重度の難聴の後遺症を呈した。
												サルモネラ	Eurosurveillance 2008; 13: 19020	2008年5~6月、スイスでSalmonella Typhimurium患者報告数が増加し、72例の患者を対象に調査が行われた。FGEタイピングの結果から、複数のアウトブレイク株が同定された。そのうちの1つの株"株2"が43例を占めていたが、食品からの分離株で一致するものはなかった。11例から分離された"株1"及び6例から分離された"株3"は食肉製造業者の豚肉検体から一致する株が分離された。
												ブドウ球菌感染	Ugeskr Laeger 2008; 170: 3436- 3437	デンマークにおいて職業上のブタ接触者2例で、MRSA感染が確認された。ST398及びt034という特徴も併せ、ブタが感染源であると判断された。
												インフルエンザ	ProMED-mail2008112 5.3715	CDCはインフルエンザ活動性の最新情報で、ブタに数回接触後にブタインフルエンザA/H1N1ウイルスに感染したヒトについて報告した。CDCによると毎年約1例のブタインフルエンザ陽性ヒト症例がある。この患者は10月中旬に病気になる、テキサス州保健サービスは報告しているが、詳細は不明である。患者の家族や接触者では発症しなかった。
												レンサ球菌感染	Emerg Med J 2008; 25: 607-608	イギリスで35歳の精肉店勤務の男性がブタ連鎖球菌性髄膜炎を発症した。業務上負った手の切り傷からの感染と思われる。
												レンサ球菌感染	Epidemiol Infect 2008; 136: 1691- 1697	2003年1月1日~2005年7月31日の期間に香港の公立病院に入院し、ブタ連鎖球菌感染症と診断された患者は21例であり、半数が65歳以上、大半が夏に発症であった。5例がブタや豚肉への職業的接触があり、4例は発症前に生の豚肉を調理していた。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												旋毛虫症	Vet Parasitol 2008; Epub: 4590	1990年～2006年のブルガリアにおける旋毛虫症の疫学調査結果である。145件のアウトブレイクと238例の散発症例が確認され、総計7544例が旋毛虫に汚染された肉を摂食し、4108例が感染し、2237例が発症したと判断された。そのうち入院は1014例、死亡は2例であり年間発症率は人口10万人あたり0.27～7.40であった。アウトブレイクの主な原因はイノシシ肉(57件)と豚肉(67件)であった。
												レンサ球菌感染	J Infect 2008; 57: 392-396	ブタ連鎖球菌感染症の死亡のリスク因子を特定することを目的とした後ろ向きコホート研究が、2005～2007年のタイ北部のターシャリーケア病院のブタ連鎖球菌感染症患者を対象に実施された。Cox's回帰分析により、敗血症性ショック、ALT上昇が死亡のリスク因子であることが明らかになった。
												エボラ出血	ProMED-mail2009012 3.0293	90056に同じ
212	2009/4/20	90081	CSL ベーリン グ	フィブリノゲン加第XIII因子 人血液凝固第XIII因子	人血液凝固 第XIII因子	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストラリア	有効成分	有	無	無	異型クロイツ フェルト・ヤコブ 病	American Society of Hematology/ Press Releases 2008年8月28 日	81013に同じ
												バベシア症	Clin Infect Dis 2009; 48: 25-30	81052に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコブ 病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
213	2009/4/20	90082	CSL ベーリン グ	乾燥pH4処理人免疫グロブリン	ペプシン	ブタ胃粘膜	米国	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
214	2009/4/20	90083	CSL ベーリン グ	抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストラリア	有効成分	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	American Society of Hematology/ Press Releases 2008年8月28日	81013に同じ
												バベシア症	Clin Infect Dis 2009; 48: 25-30	81052に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
215	2009/4/20	90084	CSL ベーリン グ	乾燥pH4処理人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	ドイツ	有効成分	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	American Society of Hematology/ Press Releases 2008年8月28日	81013に同じ
												バベシア症	Clin Infect Dis 2009; 48: 25-30	81052に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ
216	2009/4/20	90085	中外製薬	トラスツマブ(遺伝子組換え) レノグラスチム(遺伝子組換え) エポエチン ベータ(遺伝子組換え) トシリズマブ(遺伝子組換え)	チャイニーズハムスター卵巣細胞	チャイニーズハムスター卵巣	不明	製造工程	無	無	無			
217	2009/4/20	90086	中外製薬	トシリズマブ(遺伝子組み換え)注	ガラクトース	ウシ乳	米国、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
218	2009/4/20	90087	中外製薬	レノグラスチム(遺伝子組換え) エポエチン ベータ(遺伝子組換え)	ウシ胎仔血清	ウシ血清	米国、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
219	2009/4/20	90088	中外製薬	レノグラステム(遺伝子組換え) エポエチン ベータ(遺伝子組換え)	DMEM/F12	ウシ乳	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
220	2009/4/20	90089	中外製薬	トラスツズマブ(遺伝子組換え)	ブタラード ウォーター	ブタ脂肪	米国、カナダ	製造工程	有	無	無	ウイルス感染	OIE Press Release 23Dec2008	80963に同じ
221	2009/4/20	90090	中外製薬	トラスツズマブ(遺伝子組換え)	スズジン	ブタ胃液	米国	製造工程	有	無	無	ウイルス感染	OIE Press Release 23Dec2008	80963に同じ
222	2009/4/20	90091	中外製薬	トラスツズマブ(遺伝子組換え)	プリマトン HS/UF	ウシ脾臓、 心臓、ウマ 脾臓、脛 肉、ブタ ラード ウォーター	米国、カナダ	製造工程	有	無	無	ウイルス感染	OIE Press Release 23Dec2008	80963に同じ
223	2009/4/20	90092	中外製薬	トラスツズマブ(遺伝子組換え) ストレプトコックスピオゲネス(A 群3型)Su株ペニシリン処理凍 結乾燥粉末	バンクレアチ ン	ブタ脾臓	米国、カナ ダ、日本、 フランス	製造工程	有	無	無	ウイルス感染	FDA/CDER Meeting of the Antiviral Drugs Advisory Committee 2008年12月2 日	80963に同じ
												ウイルス感染	OIE Press Release 23Dec2008	80963に同じ
224	2009/4/20	90093	中外製薬	レノグラステム(遺伝子組換え) エポエチン ベータ(遺伝子組換え)	ブタインスリ ン	ブタ脾臓	米国、カナ ダ	製造工程	有	無	無	ウイルス感染	FDA/CDER Meeting of the Antiviral Drugs Advisory Committee 2008年12月2 日	80963に同じ
												ウイルス感染	OIE Press Release 23Dec2008	80963に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
225	2009/4/20	90094	中外製薬	レノグラスチム(遺伝子組換え)	ヒトトランスフェリン	ヒト血漿	不明	製造工程	有	無	無	リケッチア症	CDC/MMWR 2008; 57: 1145-1148	80995に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPS Weekly Report 2009; 43: 78	90183に同じ
												マールブルグ出血熱	CCDR weekly 2009.2.13 138304	米国CDCは2008年にコロラドの病院で治療を受けた1例がマールブルグ出血熱に感染していたことを2009年1月末に確認した。米国における初の症例。当該症例はウガンダを訪問中にオオコウモリが生息する洞窟を訪問し、感染したとされている。
												ウイルス感染	ProMED-mail2009012 9.0400	90003に同じ
												BSE	BMC Vet Res 2008; 4: 14	90062に同じ
												バベシア症	Clin Infect Dis 2009; 48: 25-30	81052に同じ
226	2009/4/22	90095	持田製薬	硫酸ブラジオマイシン/結晶トリプシン インターフェロン ベータ	トリプシン	ウシ膵臓	ニュージーランド、オーストラリア、ブラジル	有効成分 製造工程	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Blood, Prepublished online 2008年7月22日	81005に同じ
												BSE	PLoS Pathogens 2008; 4: e1000156	80944に同じ
227	2009/4/22	90096	持田製薬	インターフェロン ベータ	インスリン	ウシ膵臓	-	製造工程	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Blood, Prepublished online 2008年7月22日	81005に同じ
												BSE	PLoS Pathogens 2008; 4: e1000156	80944に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
228	2009/4/22	90097	持田製薬	インターフェロン ベータ	ウシ血清	ウシ血液	ニュージーランド	製造工程	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Blood, Prepublished online 2008年7月22日	81005に同じ
												BSE	PLoS Pathogens 2008; 4: e1000156	80944に同じ
229	2009/4/22	90098	持田製薬	インターフェロン ベータ	トリプシン	ブタ膵臓	—	製造工程	有	無	無	エボラ出血	Reuters (January 23, 2009)	90299に同じ
230	2009/4/22	90099	持田製薬	インターフェロン ベータ	カルボキシペプチダーゼ	ブタ膵臓	米国	製造工程	有	無	無	エボラ出血	Reuters (January 23, 2009)	90299に同じ
231	2009/4/22	90100	持田製薬	インターフェロン ベータ	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	製造工程	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Blood, Prepublished online 2008年7月22日	81005に同じ
												ウイルス感染	Proc Natl Acad Sci USA 2008; 105: 14124-14129	80995に同じ
												デング熱	N Engl J Med 359(14):1526-1527 Oct.2, 2008	シンガポールにおける輸血によるデング熱出血感染症:2007年7月に献血をしたデング熱ウイルス(2型)無症候性ドナーから赤血球及び新鮮凍結血漿レシエント(2例)がデング熱ウイルス(2型)陽性であることが判明し、血小板レシエント(1例)も二次性デング熱感染について血清学的エビデンスがあった。
												感染	日本医真菌学会雑誌 2008; 49: 92 第52回 日本医真菌学会総会 2008年9月10-11日	81005に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												ウイルス感染	WHO/EPR 2008年10月 13日	81005に同じ
												細菌感染	CDC/MMWR 2008; 57: 1145-1148	80995に同じ
												ウイルス感染	IASR 2008; 29: 310-312	81005に同じ
												細菌感染	JAMA 2008; 300: 2263- 2270	81005に同じ
												エボラ出血	PLoS Pathogens 2008; 4: e1000212	81005に同じ
												ハンセン病、らい腫型	Eurek Alert November 24, 2008	散在性らい腫性ハンセン病で死亡した患者の検体の遺伝子分析より、ハンセン病の唯一の病因菌と考えられていたMycobacterium lepraeに加えて、新書の原因菌、M. lepromatosisを確認した。
												細菌感染	日本感染症学会西日本 地方会学術 集会 第78回 2008年12月5 -6日 063	81005に同じ
												レトロウイルス	日本ウイルス学 会第56回学 術集会 2P111	日本でのXMRV感染のスクリーニングを行い、前立腺がん患者では2/30例、献血者では5/120名が抗体陽性であった。さらに抗体陽性前立腺がん患者血清1検体よりウイルス核酸を検出した。日本国内の前立腺がん患者集団中にXMRV感染の存在が示唆された。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPAweb February 17, 2009	90183に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
232	2009/4/22	90101	持田製薬	ウロキナーゼ	ウロキナーゼ	ヒト尿	中国	有効成分	有	無	無	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Blood, Prepublished online 2008年7月22日	81005に同じ
												ウイルス感染	Proc Natl Acad Sci USA 2008; 105: 14124-14129	80995に同じ
												感染	日本医真菌学会雑誌 2008; 49: 92 第52回 日本医真菌学会総会 2008年9月10-11日	81005に同じ
												ウイルス感染	WHO/EPR 2008年10月13日	81005に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	FEBS Letters 2008; 582: 3161-3166	81005に同じ
												ウイルス感染	IASR 2008; 29: 310-312	81005に同じ
												細菌感染	JAMA 2008; 300: 2263-2270	81005に同じ
												エボラ出血	PLoS Pathogens 2008; 4: e1000212	81005に同じ
												ハンセン病、らい腫型	Eurek Alert November 24, 2008	90100に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												細菌感染	日本感染症学会西日本地方会学術集会 第78回 2008年12月5-6日 063	81005に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerg Infect Dis 2008; 14: 1406-1412	81005に同じ
												レトロウイルス	日本ウイルス学会第56回学術集会 2P111	日本でのXMRV感染のスクリーニングを行い、前立腺がん患者では2/30例、献血者では5/120名が抗体陽性であった。さらに抗体陽性前立腺がん患者血清1検体よりウイルス核酸を検出した。日本国内の前立腺がん患者集団中にXMRV感染の存在が示唆された。
233	2009/4/22	90102	日本臓器製薬	低分子ヘパリン	低分子ヘパリン	ブタ腸粘膜	中国	有効成分	無	無	無			
234	2009/4/22	90103	日本臓器製薬	—	培養ヒトリンパ芽球(JM細胞株)	ヒト(急性リンパ性白血病患者)末梢血	ドイツ	製造工程	無	無	無			
235	2009/4/22	90104	日本臓器製薬	—	抗ヒトリンパ球ウサギ免疫グロブリン	培養ヒトリンパ芽球免疫ウサギ血清	ドイツ、ハンガリー	有効成分	無	無	無			
236	2009/4/22	90105	日本臓器製薬	—	ヒト胎盤ホモジネート	ヒト胎盤	ドイツ	製造工程	無	無	無			
237	2009/4/22	90106	日本臓器製薬	—	ヒト赤血球	ヒト血液	ドイツ	製造工程	無	無	無			
238	2009/4/22	90107	日本臓器製薬	—	ウシ胎児血清	ウシ血液	米国、ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	無	無	無			
239	2009/4/22	90108	日本臓器製薬	—	ウシ乳児血清	ウシ血液	米国、ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
240	2009/4/22	90109	株式会社大塚製薬工場	-	ヘパリンナトリウム	健康なブタの小腸粘膜抽出物	米国、カナダ、中国	有効成分	有	無	無	レンサ球菌感染	J Infect 2008; 57: 158-161	90080に同じ
												ブドウ球菌感染	Ugeskr Laeger 2008; 170: 3436-3437	90080に同じ
												インフルエンザ	ProMED-mail20081125.3715	90080に同じ
												レンサ球菌感染	Emerg Med J 2008; 25: 607-608	90080に同じ
												エボラ出血	WHO/EPR 2009年2月3日	90056に同じ
241	2009/4/22	90110	武田薬品工業	注射用乾燥セルモロイキン(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	人血液	日本	添加物	有	無	無	B型肝炎	J Hepatol 2008; 48: 1022-1025	81039に同じ
												E型肝炎	Transfusion 2008; 48: 1368-1375	81038に同じ
												B型肝炎	Transfusion 2008; 48: 1602-1608	81038に同じ
												バルボウイルス	Lab Hematol 2007; 13: 34-38	81038に同じ
												E型肝炎	Vox Sanguinis 2008; 95: 94-100	81038に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
242	2009/4/22	90111	武田薬品工業	注射用乾燥セルモロイキン(遺伝子組換え)	ウシの乳由来成分	ウシの乳	オーストラリア、ニュージーランド、アメリカ	製造工程	無	無	無			
243	2009/4/23	90112	明治乳業	沈降B型肝炎ワクチン(huGK-14細胞由来)	HBs抗原たん白質(huGK-14細胞由来)	ヒトの肝臓	日本	有効成分	有	無	無	ウイルス感染	WHO/EPR 2008年10月13日	81005に同じ
												狂犬病	Emerg Infect Dis. 2008 Dec (Epub ahead of print)	新たな狂犬病ウイルス変異体の同定: アメリカのカリフォルニアで狐にかまれたメキシコ移民男性が2008年3月に死亡した。脳のサンプルから単離したウイルスの塩基配列の解析より昆虫食コウモリの狂犬病ウイルスクレイドの特徴的分子構造を有するが、遺伝的多様性としては5%あり、高度に保存された321番目のヒステジジンがグルタミンに変異していることから、新たな狂犬病ウイルスとして分類した。
												ウイルス感染	IASR 2008; 29: 310-312	81005に同じ
												細菌感染	日本感染症学会東日本地方会学術集会 第57回 2008年10月23-24日	Lactococcus garvieaeが起炎菌と考えられる腰椎椎体炎の1例。当該菌による骨髄炎は2000年に1例報告されて以来、世界第2例目である。
												ハンセン病、らい腫型	Am J Clin Pathol. 130: 856-864, 2008	広範性らい腫らい(DLL)により死亡した患者からMycobacterium属の新種が確認された: DLLにより死亡した1症例から肝組織、他の1症例から皮膚組織から抗酸菌のDNAを抽出し16Sribosomal RNA遺伝子および他の5つの遺伝子の相同性を解析した。その結果、らい腫(M. leprae)と共通の起源ではあるが、そこから分岐した別のmycobacteriaであることからM. lepromatosisと命名した。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												細菌感染	日本感染症学会西日本地方会学術集会 第78回 2008年12月5-6日 063	81005に同じ
												ウイルス感染	ProMED-mail20090129-0400	90003に同じ
												レトロウイルス	日本ウイルス学会第56回学術集会 2P111	90101に同じ
												細菌感染	日本細菌学会第82回総会 P2-182	Anaplasma phagocytophilumによるアナプラズマ症の本邦初の症例。2002～2003年の高知県で日本紅斑熱が疑われた18例の血餅から、2例で、A. phagocytophilumに特異的なp44/msp2外膜蛋白遺伝子群のPCR産物が検出された。
244	2009/4/23	90113	明治乳業	沈降B型肝炎ワクチン(huGK-14細胞由来)	ウシ胎児血清	ウシの血液	オーストラリア	製造工程	無	無	無			
245	2009/4/23	90114	明治乳業	沈降B型肝炎ワクチン(huGK-14細胞由来)	ウシ血清アルブミン	ウシの血液	オーストラリア	製造工程	無	無	無			
246	2009/4/23	90115	明治乳業	沈降B型肝炎ワクチン(huGK-14細胞由来)	DNase I	ウシの臓腑	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
247	2009/4/23	90116	明治乳業	沈降B型肝炎ワクチン(huGK-14細胞由来)	ウサギ抗ヒト血清アルブミン交代	ウサギの血液	日本	製造工程	無	無	無			
248	2009/4/23	90117	明治乳業	沈降B型肝炎ワクチン(huGK-14細胞由来)	マウス抗HBsモノクローナル抗体	マウスの血液	日本	製造工程	無	無	無			
249	2009/4/23	90118	明治乳業	沈降B型肝炎ワクチン(huGK-14細胞由来)	トリプシン	ブタの臓腑	アメリカ	製造工程	有	無	無	エボラ出血	WHO/OIE 2008年12月23日	フィリピン。2007～2008年に養豚場のブタの死亡率が上昇したことをうけ、政府の調査が実施され、ブタ繁殖・呼吸器障害症候群(PRRS)ウイルス強毒株およびEbola-Restonウイルスの感染が確認された。ブタからEbola-Restonウイルスの検出は初めてである。